



関宮学園

学校だより 28 号
R 7. 11. 19

校訓「敬・愛・信」

道徳教育の充実

毎朝、校門で子どもたちにあいさつをすると、元気いっぱいの声で返してくれ、気持ちのいい一日が始まります。なかには、「おはようございます」のあいさつとともに、私に一言を添える7年生男子もいます。その一言を聞くのが楽しみになっています。

素敵な場面にも出会います。先日、9年生の男子生徒が、体育館前のアスファルトで「あるもの」を拾って、庭園の中に返していました。不思議に思って、何を拾ったのか尋ねてみました。「あるもの」とは、カタツムリでした。このままにしておけば、誰かに踏まれるかもしれないと思ったのでしょう。すべての生き物には「命」があること、その大切さを感じられる心優しい子なんだと感心するとともに、朝からいい気分になりました。

本校は、今年度も、県教育委員会の指定を受けて、道徳教育の充実に向けて、職員が研修に励んでいます。本校の研修の特徴は、前期課程と後期課程の職員が合同で行っていることです。子どもたちの活動だけでなく、職員も小中一貫で取り組んでいます。道徳の授業を充実させることにより、子どもたちのよりよく生きたいという気持ちや態度を育てたいと考えています。

データを一つ紹介します。全国学力・学習状況調査では、児童生徒質問紙に「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」との項目があります。この調査は、6年生と9年生のみが対象であり、毎年の調査人数も少ないことから、単年度ではなく、複数年で検証していく必要があります。そのような前提のもとですが、次のような結果が得られています。

本校において、道徳科の職員研修に取り組み始めたのは、令和5年度からです。取り組み前後の令和4・5年度と令和6・7年度を比較すると、肯定的な回答が増えていることが分かります。（ただし、コロナ禍もあって、一概には比較できない側面もあります。）特に、9年生については、令和6・7年度とも100%（全国平均が91%程度）、すべての生徒が「取り組んでいる」と回答しています。全国平均を上回る年度がほとんどであり、本校がテーマとしてきた「対話」が深まっていると言えます。

登場人物の気持ちになって道徳の教科書を読むと、幸せな気持ちになれる場面に出会います。逆に、違和感、疑問を抱き、引っ掛かりを覚える場面もあります。その場면을深く考えることにより、子どもたちに気づきが生まれます。

道徳の教科書は読書に最適です。保護者の皆様も、道徳の教科書を読んでみてください。心動かされる場面に出会えるかもしれません。

兵庫県中学校総合体育大会駅伝競走大会

11月15日(土)に奥神鍋周辺コースで行われ、女子チームが出場しました。部活動指導員の田中耕治さんの「練習は嘘をつかない」との言葉どおり、長距離走という心身ともにハードな練習に地道に取り組んだ結果、但馬大会での記録を更新することができました。選手の健闘に「あっぱれ!」です。

一人一台タブレット端末の更新

令和2年度に整備されたタブレット端末が更新の時期を迎え、先日、新しいiPadが納品されました。順次、子どもたちに配布する予定です。

デジタル教材を活用した問題演習、理科の観察や実験・体育の実技練習での動画や写真の撮影、インターネットを活用した調べ学習、レポートの作成などさまざまな場面でタブレット端末を活用しています。

インターネットにもつながりますので、更新にあたり、改めて、使い方について指導します。ご家庭でも使い方についてお話しください。



校内の展示・掲示

昨年度から、木彫フォークアートの作品を展示するようになりました。先日、作品を入れ替えていただきました。今回は、第11回公募展において実行委員会特別賞に輝いた『双樹』です。後期課程の玄関に展示しています。来校される際にご覧ください。

前期課程校舎の1階に「関宮学園のいいところ」掲示板を設け、子どもたちの投稿を掲示しています。「みんなやさしい」「みんな元気」「授業が楽しい」「給食がおいしい」などうれしいことが書かれています。「宿題が少ない」といった投稿もあり、楽しみながら掲示板を見えています。



九九の暗唱

2年生が九九の暗唱に励んでいます。一つの段が暗唱できると、先生からサインをもらうことができます。休み時間になると、校内のあちらこちらで暗唱が聞こえます。普段、接することの少ない後期課程の先生にも聞いてもらっています。微笑ましい光景です。

前回の学校だより27号「12月の行事予定」において、手作り弁当デーを12月18日(木)とお知らせしましたが、正しくは、12月17日(水)です。また、18日(木)は「給食なし」ではなく「給食あり」です。お詫びして訂正します。